

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

別紙3
(議案第2号関連)

令和7年12月23日

協議会名: 常総市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>①地域公共交通の評価検証 【内容】 ・JOYBUSや予約型乗合交通ふれあい号などの利用実績等の集計分析 ・公共交通に関するアンケート調査の実施 ・関係者ヒアリングの実施 ・課題整理 ・交通計画の見直し検討 【結果】 ・ふれあい号利用登録者及び市公式LINE登録者に対しアンケート調査を実施し、JOYBUSの運行内容見直しによる利用状況の変化や利用者にと与えた効果等を把握した。また、ふれあい号登録者の現在の利用状況や移動エリアについて把握した。 ・市内高校に在籍する生徒を対象に高校生アンケート調査を実施し、通学状況や放課後の移動状況、公共交通に対する考え方等を把握した。 ・鉄道事業者、JOYBUS運行事業者、ふれあい号運行事業者に対しヒアリング調査を行い、各事業者が挙げた課題および改善要望を把握した。 ・アンケート調査やヒアリング調査の結果を踏まえ、今後の課題を整理した。 ・JOYBUS及びふれあい号の運行内容、運行システム、運営状況等の観点から評価・検証を行い、運行計画の見直し及び利用促進の検討を行う。</p> <p>②地域公共交通活性化協議会の開催 【内容】 地域公共交通の各種調査の報告、調査等を踏まえた評価検証及び運行内容の見直し内容等の協議のため、法定協議会である「常総市公共交通活性化協議会」を開催する。 【結果】 協議会4回開催(令和7年6月、10月、12月、令和8年2月予定)</p> <p>③地域公共交通計画のとりまとめ 【内容】 令和7年度と令和8年度の2ヶ年で、次期常総市地域公共交通計画を策定することを予定しており、令和7年度の調査結果等を取りまとめる。 【結果】 上記①で行った調査結果等に基づき、次期計画の骨子案を作成し、第4回協議会で協議を行う予定。</p>	<p>A</p> <p>・計画に位置付けたとおり、適切に事業を実施した。</p>	<p>・今年度の地域公共交通の評価検証、現計画の評価検証、地域公共交通計画アップデートガイダンス等を踏まえて、次期計画を策定する。 ・持続可能な交通体系にするため、公共交通の再編後の形(広域交通、地域間交通、地域内交通)を具体的に明記する。 ・各分野のまちづくりと連携した地域公共交通事業を位置づけることで事業の相乗効果が図られるようにする。 ・令和9年3月に次期常総市地域公共交通計画を策定予定。</p>

令和7年度 常総市公共交通活性化協議会（茨城県常総市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

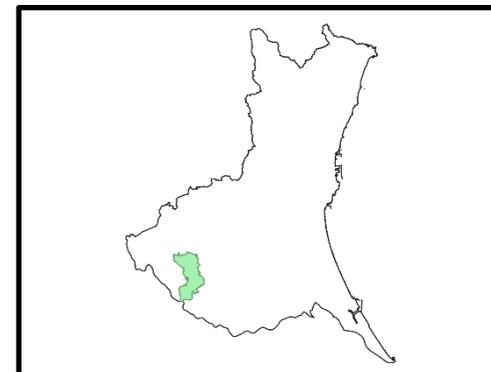
- ・茨城県の南西部に位置しており、東はつくば市・つくばみらい市、西は坂東市、南は守谷市、北は八千代町・下妻市にそれぞれ接しており、南北に関東鉄道常総線が走り、取手方面と下妻・筑西方面を結んでいる。
- ・市内と市外をつなぐ広域路線の役割を担う公共交通は、関東鉄道常総線の鉄道駅が7駅（水海道駅、北水海道駅、中妻駅、三妻駅、南石下駅、石下駅、玉村駅）、路線バスが市内3路線3系統で運行されている。
- ・市内の移動を支える公共交通は、予約型乗合交通ふれあい号（乗合タクシー）が運行しており、令和6年4月より、新たな地域公共交通としてJOYBUS（コミュニティバス）が運行を開始している。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

- ・JOYBUSの新規運行以降、利用者数が伸び悩んでおり、令和7年4月より、毎日運行から曜日運行に切り替えることで、1日あたりの運行本数のサービス水準を上げる取組や中心部の回遊性向上に向けて市街地ルートを新設する取組などを行っており、継続して運行内容の最適化に向けた検討を行っている。
- ・予約型乗合交通ふれあい号についても、運行を担っている交通事業者が廃業となるなど、サービス供給量が年々減少している状況となっており、令和6年度にAIデマンドシステムを導入し、デマンド交通の高度化を図っている。
- ・これらの問題点に対応するため、限られたリソースで効率的かつ効果的なサービスを提供していくことが必要であり、鉄道と路線バスを含めて、JOYBUS、予約型乗合交通ふれあい号の運行内容の再編及び役割分担を行い、常総市公共交通の最適解を見出していくための調査検討が必要となる。
- ・また、まちの変化も進んでおり、令和5年4月に道の駅常総が開業し、市民や来訪者などの人の流れが変化している。これらの変化に公共交通を対応させていくことも必要となる。

アピールポイント

- ・特に東西軸における市内外を結ぶ広域移動及び市内の各地域から中心部（水海道駅周辺、石下駅周辺など）までの地域内移動に対応するための公共交通の再編について、具体的な検討を行っている。
- ・今年度、公共交通の再編内容を具体化し、次年度に策定予定の次期常総市地域公共交通計画の将来ネットワーク、基本方針、施策・事業に反映していくことで、実効性の高い地域公共交通計画の策定につながると考えている。
- ・公共交通の再編検討の具体化に向けて、各種アンケート調査（市民向け調査、利用者向け調査）、交通事業者ヒアリング、JOYBUSの利用状況分析、予約型乗合交通ふれあい号の利用状況分析を行い、需要と供給のマッチングを図っている。
- ・また、市内外を結ぶ広域移動の検討にあたり、常総市内を運行している公共交通のリソースのみで検討を行うのではなく、周辺市町村との連携を行い、相互補完を行うことで、効果的かつ効率的な公共交通ネットワークの実現につなげていきたいと考えている。そのため、公共交通ネットワークだけでなく、交通結節点のあり方との関連も含めて検討を進めている。



面積	123.64km ²
人口（R7.4.1時点）	58,414人
15歳未満	5,770人
65歳以上	18,296人
高齢化率	31.6%

協議会開催状況

令和7年度の開催状況（予定含む）

■ 第1回協議会（R7.6.19）

- ・公共交通の利用状況

■ 第2回協議会（R7.10.21）

- ・常総市地域公共交通計画の変更
- ・常総市地域公共交通基礎調査（アンケート調査、事業者ヒアリング、JOYBUSの利用状況、予約型乗合交通ふれあい号の利用状況など）
- ・お試し乗車券の利用実績
- ・坂東市コミュニティバスの乗り入れ

■ 第3回協議会（R7.12.23）

- ・常総市地域公共交通計画の変更（パブリックコメント結果）
- ・事業評価

■ 第4回協議会（R8.2.17予定）

- ・公共交通の再編について

○常総市の公共交通の状況(令和7年4月時点)

